

携帯電話の入力インタフェース技術

石井 純*
川又武典*

Input Interface Technology for Mobile Phone

Jun Ishii, Takenori Kawamata

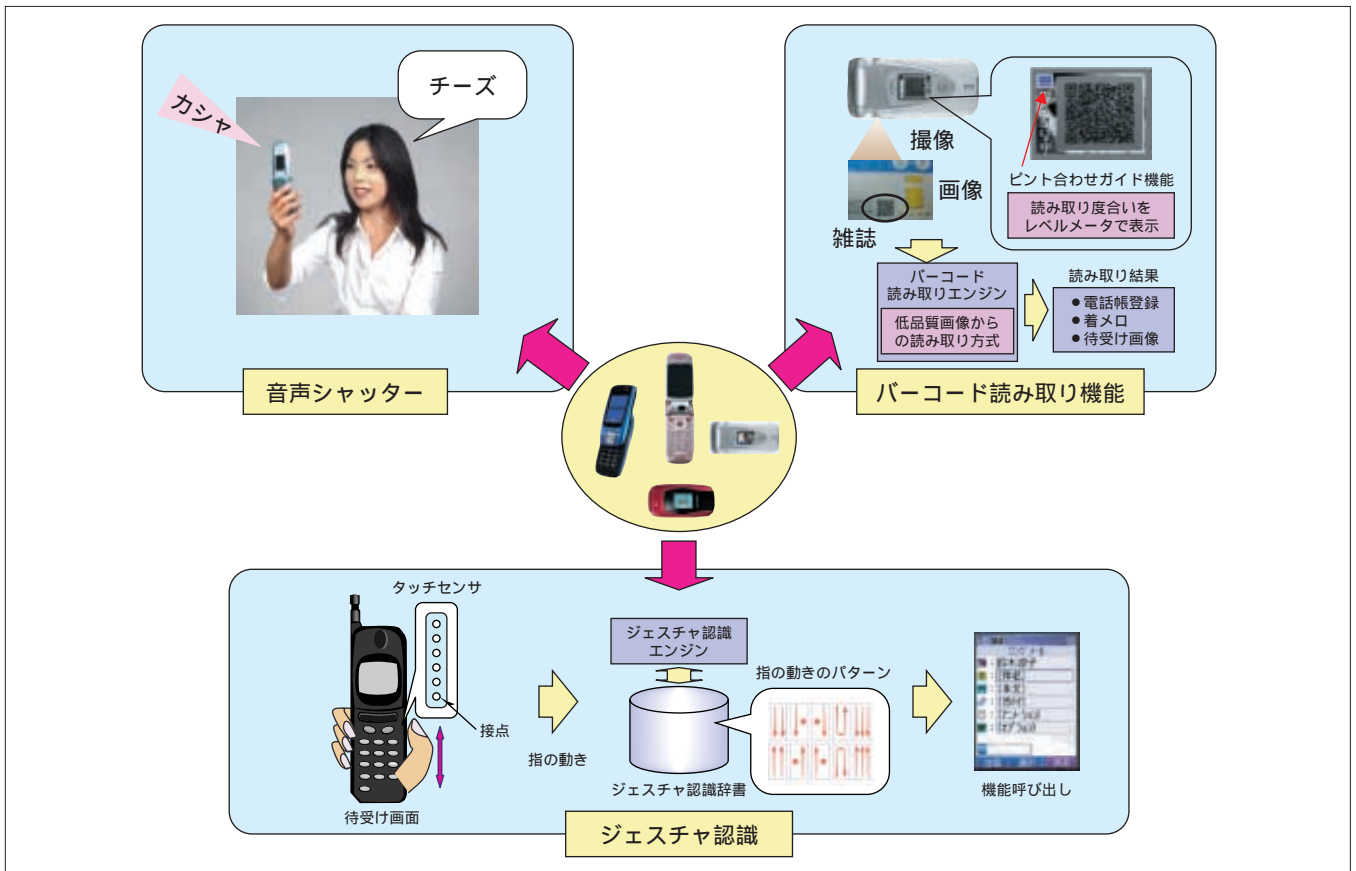
要 旨

近年、携帯電話は、電話としての基本機能のほかに、電子メールやインターネットへの接続、カメラによる画像入力が可能になるなど、多機能化・高機能化が進展している。しかしながら、携帯電話に搭載された各機能をボタンやセレクトラだけで使いこなすことは困難になってきている。したがって、各機能を簡単に操作可能な入力インタフェースが求められている。

このような要求に対して、三菱電機では、音声、画像、タッチセンサを用いた新たな入力インタフェースとして、音声シャッター、バーコード読み取り、ジェスチャ認識を開発した。音声シャッターは、あらかじめ登録しておいた

音声を発声することでカメラのシャッターを切る機能であり、手ぶれのない撮影を実現したものである。また、バーコード読み取りは、カメラを用いてURL(Uniform Resource Locator)、メールアドレスなどのテキスト情報や、待受け画像、着メロなどのバイナリー情報の簡単入力を可能にした。さらに、ジェスチャ認識は、携帯電話の側面に配置した一次元のタッチセンサによって指の動きを認識することにより、待受け画面からの簡便な機能呼び出し実現を可能にした技術である。

本稿では、音声シャッター、バーコード読み取り、ジェスチャ認識について述べる。



携帯電話の新しい入力インタフェース技術

携帯電話の新しい入力インタフェースである音声シャッター、バーコード読み取り、ジェスチャ認識によって簡単な機能操作が実現できる。音声シャッターは、声によってシャッターを切ることで、手ぶれを防ぐ。バーコード読み取り機能は、カメラを用いてバーコードを読み取ることで、情報を簡単に取り込むことが可能になる。ジェスチャ認識は、指の動きを認識することにより待受け画面から簡便な機能呼び出しを実現する。